

まさき議会だより

No.130

2026年8月1日発行

6月定例会

P 2 皆さんの声を町に届けました（町長からの回答）

P 6 町政について **4人が一般質問**

P 9 和将薫、山本さんに聞きました

松前町
議会中継
[録画]



危険空家の撤去、庭木や雑草などの伐採を早急に

「空家法」に基づき特定空家等の認定を行い、改善を促していますが、改善が見られない場合は、代執行を含む必要な措置を検討していきます。

一部改善に至っていない案件もあることから、関係課と連携し住環境の改善に努めます。



撤去前



撤去後



2月14日開催の「議会報告＆意見交換会」では、ご参加いただいた方から町に対する多くの要望が出されました。

議会で検討して6点に絞り、回答を町長からいただきました。

なお、すべての要望を町長に提出し、今後の施策で実現されるようお願いしています。

農地の集積・集約事業の促進と農業振興の取組を

農業従事者の高齢化と後継者不足に伴う耕作放棄地の増加は重要な課題と認識しています。畦畔除去等による農地の集積・集約化を進めていますが、農地所有者の合意形成など課題もあります。

今後はできるだけ農家に負担が生じないよう国の制度活用も図りながら、農業振興に取り組んでいきます。



アーバンスポーツ構想について周知を



子ども議会からの提言に加え、署名要望書が町議会を通じて提出されたことを受け、若者世代の活力創出と地域活性化を目指して検討を進めています。

昨年11月に検討会を設置し、施設整備基本構想を作成中です。準備が整いしだい、公式HP等で公表するとともに、分かりやすい情報発信に努めます。

皆さんの声を町に届けました（町長からの回答）

健康寿命を延ばす取組を

町民の皆さんが住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために、総合検診による疾病の早期発見・重症化予防、保健指導、介護予防講座等を実施しています。

学校給食では栄養士が栄養価を考え献立を作成、地元の食材を活用し、食育にも取り組んでいます。

今後も疾病予防や介護予防に関する健(検)診・講座、食育を通じた健康づくりを推進していきます。



補聴器購入補助金の増額を

補聴器購入の負担が大きい、「聞こえ」の確保が認知予防につながるとのご意見は重要な視点と受け止めています。

利用状況やニーズ、他の自治体の動向も見ながら、必要な検証を行っています。



不登校の居場所づくりを早急に

現在、中学校にサポートルームを設置しています。小学校では部屋は確保していますが、支援員を配置できていないため、早期の配置を検討していきます。

来年度から不登校児童生徒等を支援する「教育支援センター（仮称）」の開設に向け、準備を進めているところです。



旧 古城幼稚園



町長からの回答全文は、こちらからご覧いただけます。



一般会計補正予算(1回目) 4億7879万円

予算決算

補正予算を
チェック

地域公共交通運行支援

4478万円

利用者数
2400人/月目標

- ・コミュニティバスのルート再編
- ・DX導入

問 交通DX導入とは具体的には。

答 国土交通省が推奨する位置情報アプリで、スマホを通じてコミュニティバスの位置情報が確認できる。

コミュニティ対策

170万円

昌農内自治会向け備品購入補助金
(宝くじ助成による補助)

問 採択されなかった地域は。

答 都度、自治総合センターに申請を上げるため、次年度も引き続き申請を上げていただくよう案内している。

松前駅周辺地区
都市再生整備

5214万円



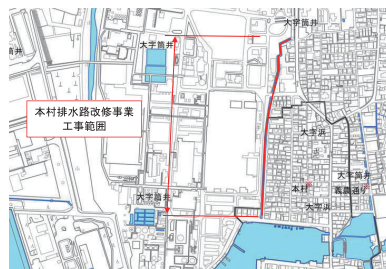
- ・義農公園整備設計 2114万円
- ・松前駅前広場整備 3100万円

問 社会資本整備総合交付金補助率が当初予算よりも低い。

答 補助率が低くなったわけではなく、内示率が低かったため。

上・下水道の整備

5400万円



- ・本村排水路改修 5000万円
本村地区の円滑な排水機能を確認するため、老朽化した排水路改修工事を行う。
- ・下水路等維持 400万円
塩屋排水機場電気代ほか

教育支援センター整備

4555万円



不登校児童生徒の支援教室、子どもや保護者の相談窓口、子どもの居場所のための整備

庁舎管理

7590万円

- ・議場の音響・映像設備の不具合解消のための設備更新
- ・委員会室にカメラと収音マイク設置

その他の補正予算

国民健康保険特別会計	395万円
後期高齢者医療特別会計	△34万円
介護保険特別会計 保険事業	1054万円
介護サービス事業	5万円

△減額

快適で暮らしやすい基盤づくりへ

国民健康保険税条例の一部改正

問 子ども・子育て支援納付金による増税とのことだが、どのくらいの増税になるのか。

答 1人当たり年間平均 2451 円の増税になる。

問 子どものいない家庭の負担が増えるのではないか。

答 社会全体で負担を分かち合い、その結果、将来的に社会全体が恩恵を受けることができるという趣旨で、国が創設した社会保険制度である。



専決処分の承認

・ 税条例の一部改正

主に軽自動車税について

・ 国民健康保険税条例の一部改正

基礎課税額上限が 66 万円から 67 万円へ

筒井地区雨水貯留施設整備工事

問 同時に予定していた水路改修が遅れることについて住民への説明を行うのか。

答 今後の工事日程が決まりしだい、速やかに住民には説明する。



人 事 農業委員

久保 龍彦さん（南黒田）
古川 理枝子さん（筒 井）
八束 光男さん（徳 丸）
本田 啓三さん（中川原）
秋山 和恵さん（出 作）
池内 直人さん（鶴 吉）
済川 誠さん（鶴 吉）
篠崎 保さん（横 田）
渡部 一幸さん（永 田）
伊賀上 典久さん（大 間）
大政 浩史さん（恵久美）
重川 鐵さん（昌農内）
戎森 基晴さん（北川原）
大川 誠さん（北川原）

その他の議案

・ 税条例の一部改正
・ 印鑑条例の一部改正
・ 第3分団消防詰所新築建築
主体工事請負契約の締結

追加議案

省エネ家電買換え支援 1255 万円

エアコン・電気冷蔵庫・
テレビ・LED 照明器具の
買換えを対象に、2分の1
（上限 5 万円）を補助



町民の暮らしによりそった改正を

報 告

○令和7年度一般会計から令和8年度へ

17 億 2290 万円を繰越

○令和7年度水道事業会計から令和8年度へ

6 億 1932 万円を繰越

○令和7年度下水道事業会計から令和8年度へ

1000 万円を繰越

○令和7年度松前町土地開発公社収支決算

資産：1 億 8973 万円

負債：1 億 7599 万円 資本：1374 万円

一般会計繰越の主なもの

- ・ 筒井地区雨水対策 7 億 5509 万円
- ・ 塩屋地区雨水対策 2 億 8703 万円
- ・ 松前生活応援商品券 1 億 7600 万円

い
ず
れ
も
可
決
・
承
認
・
同
意
し
ま
し
た。



一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、二次元コードを読み取り、録画中継をご覧ください。

中学校の部活動と その安全性は

生徒の安全性を最優先に、文科省
が求める安全管理を原則とする

問 部活動の地域展開で、休日の活動や遠征における移動中の安全性確保のため移動ルール（ガイドライン）を明確にすべきではないか。

答 令和8年5月に発生した部活動遠征中のバス事故は、生徒の安全管理の重要性を改めて認識させる契機となった。

この事案を受け、国及び県教育委員会から部活動における安全確保について通知が出され、本町もこれに沿って以下のような原則を示している。

・学校の部活動における遠征時等の移動については、公共交通機関や認可を受けた貸切バス、タクシー等の利用を原則とする。



藤岡 緑
議員



・保護者の車両を利用する場合は任意保険の加入状況の確認、保護者の同意を必ず得る。
・教職員の自家用車への同乗は、原則行わない。



地域展開を目指す 休日の部活動の今後は

地域クラブが主体となって
実施するケースが増える

問 中学校の部活動のスポーツ団体に委ねる地域展開について、これからの町としての考えは。

答 令和11年度からの地域クラブ活動への展開を目指し、町教育委員会による地域クラブの認定制度の整備を進めている。

今後は、休日の部活動が増え地域クラブが運営主体となるが、学校部活動と同等の安全管理体制を確保していく。

子どもたちが、安心して好きな部活を選択できる環境づくりを。

行政主体で女性議会 などを行っては

議会と町長部局が町民の皆さんの声を町政に反映していく

問 多様な声を町政に生かすため、より多くの町民の声を聴く場を行政主体で設けてはどうか。

答 議会は町長部局のような執行機関ではない。一方で、議会は住民の皆さんから直接選ばれた議員で構成される議決機関であり、町民の皆さんの声を町政に反映させる重要な住民代表機関である。

子ども議会などのように、議場を活用し、議会形式で多様な町民の皆さんの声を聴く取組については、議会の主体性のもとで実施されることに大きな意義があるものと考えている。



村井 慶太郎
議員



毎年でなくとも、女性や高齢者等の多様な方から声を聞く場を設けることは重要である。



前回の子ども議会の様子

今後、女性議会等について、議会において実施の考えがあれば、町長部局としても、関係課との調整、情報提供、参加者募集への協力など必要な協力・連携はしっかりと行っていきたい。引き続き、議会と町長部局が互いに協力しながら、多様な町民の皆さんの声を町政に反映できる仕組みづくりに努めていく。

「チーム担任制」の 考えは

教員の働き方改革と教育の質の向上を両立させるための重要な選択と捉え県教育委員会と連携する

問 教員の「なり手不足」「教員不足」の深刻な現状の中、教科担任やチーム担任制をどう考えるか。



答 本町では、学校現場の働き方改革の推進や教員の負担軽減に努めている。

チーム担任制は、複数の教員で児童生徒を見守ることで、いじめや不登校に早期に気付きや



影岡 俊範
議員



今議会では省エネ家電買換え支援を追加議案として上程し可決した。この対応を高く評価する。

すく、教員側にとっても担任業務を分担でき、安定した学校運営につながる。

エアコン2027年 問題とは

流通するエアコンの省エネ性能がより高い水準へ移行していくことである

問 エアコン2027問題は何に起因するのか。また、国及び地方行政での政策、対応措置はあるのか。

答 これは、既存のエアコンを使えなくなるのではなく、買換えを義務付けるものでもない。

本町は、町民生活への影響を踏まえ、6月5日に成立した国の重点支援地方交付金を活用して、家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するため、省エネ性能の高いエアコン・電気冷蔵庫・テレビ・LED照明器具への買換えに対する補助制度に向けて準備を進めている。

農業振興の考え方は

農業委員会・認定農業者・JAと連携を密にし、水田収益力強化ビジョンに基づき振興を図る

問

高収益作物の作付面積は徐々に増えているが、今後の対応は。

答

作付拡大に向けて、今後は担い手農家や農協などの関係機関と連携し、地域の現状や現場のニーズに即したより効果的な産地交付金メニューを設定する。

問

ビジョンの中には、省力化技術・トラクターなどの作業機械の共同利用とあるが、具体的に。

答

今後は農業従事者の減少が見込まれることから、個々の農家が機械を所有して農業を続けるだけでは限界がある。集落営農組織などが機械導入補助事業等



池内 邦仁
議員



を活用して導入した機械を共同利用することで、効率的な営農体制の構築が可能と考える。

問

今後の継続取組は。

答

農家所得向上のため、付加価値を高めた作物の生産だけでなく、販売力強化も図り、稼げる農業への転換を進める。若い世代や意欲ある担い手が農業に希望を持てる環境づくりに取り組んでいく。

現在、町内には2団体が集落営農方式の補助を利用し営農されている。各地区で集落営農方式の検討も意味があるのでは。

子ども議会（一般質問）開催します

8月7日（金）9：30から

庁舎5階の議場にて



※町民の皆さん、ぜひお越しください。ただし、傍聴席（40人）は保護者優先のため、定員を超える場合は、先着順とさせていただきます

和将窯 山本和哉さんに 聞きました

ふるさと納税の返礼品としても好評の和将窯、山本さんに
仕事のことや町のことを聞きました。



山本和哉さん

陶芸家を目指した経緯は

子どもの頃から絵を描く事が好きだった。
父親が始めた砥部焼の土に触れてから、作る楽しさがだんだんと強くなってきて、今では描くよりも作る方の楽しさが強くなってきたと感じる。

仕事のやりがい

やはり作る楽しさ。
自分が考えた形で良いものが出ると嬉しい。
また、その作品をいいと言ってくれば、もっと良い物を作りたいと思う。



苦労や悩みは

作る事に対してはない。
度々ひとつの物に集中してしまい、他の物の制作時間がパンクしそうになる時は焦る。



今後どのようなことに チャレンジしていきたいか

器の使いやすさや見た目の美しさ、可愛さ、それぞれに特化した作品を突き詰めていきたい。



松前町のよいところは

住みやすい町だと思う。



どこでも目を引くエチュード模様。常に新しい作品にチャレンジして、皆に癒しを！



『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは8月末です。
300字程度で必ず名前・住所・連絡先をお書き
ください。

(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

9月1日(火)～24日(木)

一般
質問

9月7日(月)

インターネット
配信やってます



町民の声

食文化を後世へ

徳丸 木下 美穂

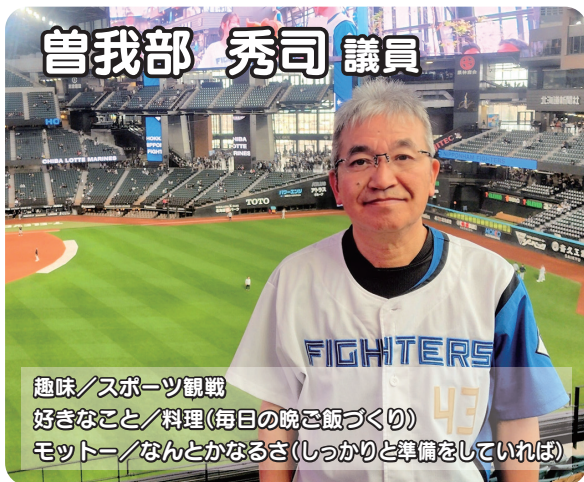
私たちが暮らしている松前町は、農業、商業、工業のバランスがとれても良い町です。私はその中の農業に従事しています。そして、農業に関わる女性を中心に結成された生活研究協議会に参加しています。

その活動のひとつに食育があります。毎年、農業区の方々が地元の幼稚園に、田植え・稲刈り体験の場を

提供しています。私たちは園児たちと収穫したお米でおにぎりパーティーをする時、はだか麦入りすいとんと一緒に作っています。この体験により、子どもたちが農業に親しみを持つてくれることを願っています。

松前町ではアーバンスポーツパークの整備が予定されるなど、先進的な施策が推し進められています。私は伝統食の普及啓発活動をする事によって、新しいものと古いものの調和のとれた松前町の未来を目指したいと思います。

曽我部 秀司 議員



趣味/スポーツ観戦
好きなこと/料理(毎日の晩ご飯づくり)
モットー/なんとかなるさ(しっかりと準備をすれば)

渡部 恵美 議員



趣味/旬の野菜を使った料理
特技/民謡、三味線(藤本流準師範)
推し/愛媛のホッケーチーム、阪神タイガース

議員のよこがお

編集後記

年々増加する義務的経費(どうしても削れない固定費)によって、経常収支比率の悪化(自由に使えるお金が少ない状態)が進行しているのが本町の実情です。

6月議会の補正額の財源は、国庫県支出金・財政調整基金・その他収入で54%、46%を町債としています。

支出は安心安全のためのインフラ整備、福祉・教育、公共交通運行业支援等、住民の生活に密着した事業を着実に遂行している様子が伺えます。

国は省エネ家電買替えの補助金を6月5日に決定しました。

それを捉えて、今議会に追加議案を上程したそのスピーディさに驚きました。今後も広報を通じ、皆さんに議会と行政の活動をお伝えできるよう努力します。

(影岡 俊範)

議会広報常任委員会

委員長	渡部 恵美
副委員長	池田 幸子
委員	加藤 博徳
委員	影岡 俊範
委員	曾我部 秀司
委員	池内 邦仁
委員	重松 知之